

財団法人テレコムエンジニアリングセンター
公益的研究集会助成

成果報告書

研究集会名

4th Pan-Pacific EMC Joint Meeting
-PPEMC'10-

(第4回環太平洋地域環境電磁工学合同会議)

助成期間

平成22年度

提出期日

平成22年9月

研究代表者氏名

藤原 修

所属機関・職名

名古屋工業大学 大学院情報工学専攻・教授
電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会(EMCJ)委員長

研究集会名	4th Pan-Pacific EMC Joint Meeting –PPEMC’ 10– (第4回 環太平洋地域環境電磁工学合同会議)	
期日・場所	平成22年5月27日～28日 東北大学サイバーサイエンスセンター	
主催	電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会(EMCJ)	
代表者	藤原 修	
勤務先	機関名	名古屋工業大学 大学院情報工学専攻
	住所	〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町
	E-mail	
助成期間	平成22年度	
助成金額		

研究集会概要

2010年5月27(木)～28(金)の2日間にわたり、東北大学(サイバーサイエンスセンター)にて「4th Pan-Pacific EMC Joint Meeting –PPEMC’10–(第4回環太平洋地域環境電磁工学合同会議)」を開催した。

同集会では日本、中国、韓国、台湾、タイの研究者がEMC全般に関するテーマを取り扱い、一般講演のほかに、国内・国外の著名なEMC研究者を招聘した招待講演、さらには企業展示も実施した。初日の講演会の後にはバンケットを企画し、EMC研究者どうしの親睦を深めた。

本会議では論文発表27件、参加者56名、さらに2社による企業展示も同時に開催され、いずれも盛況であった。論文発表は、招待講演6件(国内2件、海外4件)、一般講演21件であり、招待講演では日本、中国、韓国、台湾、タイにおける大学教授による最近の研究成果やトレンド等が紹介された。セッションは、6つの Technical Session、および3つの Invited Session で構成され、2日間にわたり研究成果等について活発に議論、討議がなされ、成功裡に終了した。



写真:PPEMC’ 10 Opening Address の様子

研究集会の詳細

研究集会名： 4th Pan-Pacific EMC Joint Meeting -PPEMC'10- (第4回環太平洋地域環境電磁工学合同会議)	
期日・場所	平成22年5月27日～28日 東北大学サイバーサイエンスセンター
主催	電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会(EMCJ)
研究集会の目的・意義 PPEMCは、環太平洋地域のEMC研究者に、研究成果の発表と情報交換の場を提供することを目的としている。ユビキタス社会に向けて今後更に発展する無線システムやIT機器、さらには両者の共存などについて、電磁環境の視点から議論を行い、機器のEMC設計、計測技術のほか、アンテナの校正、サイト評価法から電磁波の生体影響に至るまで、EMC全般に亘る幅広いテーマを扱い、国際的な人的交流をはかるとともに、EMC研究の発展に寄与する。	
研究集会概要： 2010年5月27(木)～28(金)の2日間にわたり、東北大学(サイバーサイエンスセンタ)にて「4 th Pan-Pacific EMC Joint Meeting -PPEMC'10- (第4回環太平洋地域環境電磁工学合同会議)」を開催した。 同集会では日本、中国、韓国、台湾、タイの研究者がEMC全般に関するテーマを取り扱い、一般講演のほかに、国内・国外の著名なEMC研究者を招聘した招待講演、さらには企業展示も実施した。初日の講演会の後にはバンケットを企画し、EMC研究者どうしの親睦を深める場を提供した。 本会議では27件の論文発表に対して、56名の参加者があり、さらに2社による企業展示も同時に開催され、いずれも盛況であった。 論文発表27件のうち、一般講演は21件、招待講演は6件(国内2件、海外4件)であり、招待講演では日本、中国、韓国、台湾、タイにおける大学教授による最近の研究成果やトレンド等が紹介された。セッションは、6つの Technical Session、および3つの Invited Session で構成され、2日間にわたり研究成果等について活発に議論、討議がなされ、成功裡に終了した。 本会議を通じて、EMCの最近の研究成果や課題、研究動向などが活発に議論され、EMC研究者どうしの相互理解を深めると同時に、情報交換が促進され、今後の我が国および環太平洋地域におけるEMC研究の発展に対し大きく寄与した。	
国内外からの主要参加者は以下のとおりであった。 ・Osamu Fujiwara (Professor, Nagoya Institute of Technology) ・Nobuo Kuwabara (Professor, Kyusyu Institute of Technology) ・Masamitsu Tokuda (Professor, Tokyo City University) ・Ryuji Koga (Professor Emeritus, Okayama University) ・Yougang Gao (Professor, Beijing University of Posts & Telecommunications) ・Jeong-Ki Pack (Professor, Chungnam National University) ・Tzong-Lin Wu (Professor, National Taiwan University) ・Khan-ngern Werachet (Professor, King Monkut's Institute of Technology Ladkrabang)	

参加者数(主な国別等)と発表論文数:

○参加者数:56名

・国内52名。 海外4名(中国、韓国、台湾、タイから各1名ずつ)。

○発表論文数:27件

・招待講演6件(国内2件、海外4件)。 ※海外:中国、韓国、台湾、タイから各1件ずつ。

・ 一般講演21件。

研究集会の成果

PPEMC'10 では、一般講演のほかに、海外の著名なEMC研究者を招聘した招待講演、さらには企業展示を実施し、本会議を通じて、EMCの最近の研究成果や課題、研究動向などが活発に議論され、EMC研究者どうしの相互理解を深めることができた。

また、国内外から多数の参加者があり、日本、中国、韓国、台湾、タイの研究者、技術者の情報交換が促進され、今後の我が国および環太平洋地域におけるEMC研究の発展に対し大きく寄与した。